

第1回補綴歯科臨床研鑽会 「プロソ '14」

開催趣旨

先進医療であったハイブリッドレジンによるCAD/CAMクラウンが小臼歯を対象に平成26年度の保険改訂によって保険収載されたことは補綴臨床にとっての大きな一歩となった。今後、デジタル技術を応用した補綴臨床が歯周組織との調和を保ちながら、さらに審美性を重視する方向へと進化していくであろうことは誰の目からも明らかである。公益社団法人日本補綴歯科学会は、この審美補綴臨床の進化を学術面から支えるとともに、その正しい補綴技法を会員諸氏に伝えることにより、この進歩をあまねく国民が享受できるように努めていく義務を有している。

そこで、最先端の審美補綴臨床の技術とその背景にあるエビデンスに関する情報の交換と共有を目的として、この分野をリードする我が国トップクラスの臨床家ならびに歯科技工士を一堂に集め、第1回補綴歯科臨床研鑽会 プロソ '14を開催する運びとなった。このプロソ '14は、補綴歯科専門医ならびにその取得をめざす会員に向けた専門医研修会の位置づけで開催するもので、本学会専門医制度委員会の水口俊介委員長を大会長とし、東京医科歯科大学鈴木章夫記念講堂にて本年12月6日（土）、7日（日）の両日に開催する。参加者には、専門医研修8単位が与えられる予定である。

会員諸氏におかれては、このようなプロソ '14開催の趣旨をご理解いただき、できるだけ多くの会員にご参加いただいで最先端の補綴臨床について研鑽いただければ幸いである。

公益社団法人日本補綴歯科学会
理事長 矢谷博文

第1回補綴歯科臨床研鑽会 「プロソ '14」
—審美歯科臨床のカッティングエッジ—
参加の呼びかけ

日本補綴歯科学会会員の皆様、本年12月6日(土)、7日(日)の両日に、東京医科歯科大学M&Dタワー 鈴木章夫記念講堂において第1回補綴歯科臨床研鑽会「プロソ '14」が開催されます。歯科補綴に関するスキルを高め補綴歯科専門医を取得しようとしている方、すでに取得している補綴歯科専門医をメンテナンスしたいと考えている方はぜひとも参加していただきたい。

超高齢社会の進展に伴い、医療現場では医歯連携、多職種協働が加速的に進行しています。その中で歯科医師に要求されることは口から食べる機能の回復と維持です。すなわち咬合・咀嚼機能を様々な手法を用いて回復すること、このスキルを持たない歯科医師は医療連携の中に入ることはできません。まさに本学会の守備範囲ですが、一般にはそのような歯科医師がいまだ多いのではないのでしょうか。

また近年、専門医制度の在り方が議論されております。今後どのようになるかは明確ではありませんが、現在の補綴歯科専門医が持つべきスキルは、より複雑で困難な歯科補綴処置に対応できるものであり、一般歯科医より上位にあるべきものと考えます。そしてそのスキルを取得し、維持するためには不断の努力をするべきであると思えます。この点は揺らぐものではないと考えます。

補綴歯科臨床研鑽会は、このように歯科補綴の価値を問い直されている現在、極めて教育的な発想で企画されました。学術大会は教育、研究、臨床に関する範囲の広い内容で構成されているのに対し、本研鑽会は、補綴歯科臨床に関する事項に絞り、より品質の高い治療を達成するための理論と技術を提示し議論します。山の頂をめざしている若い先生方の目の前の目標となるような、あるいは前に立って背中を導いてくれるような中堅および若手の講師の方々に登壇していただきます。すでに高みに立たれた先生方には足元を脅かすかもしれない若者の存在を感じ取っていただきたいと思えます。山の中腹にいらっしゃる先生は「次は自分が講師になってやろう。」と考えてほしいと思えます。

会場である鈴木章夫記念講堂の収容人員は500名と、通常の大会よりはるかに少なめです。そこで、できるだけ多くの方に着席していただくため座席指定制といたしました。従いまして、できるだけ早く参加登録していただき、聞きやすい席を確保していただきたいと思えます。討論は席列の中ほどに座っていても座席の会議マイクボタンを押すことによって着席したまま可能です。また発言者は前方のスクリーン(本会場のプロジェクターは極めて高品質で、今回のテーマである審美歯科臨床にぴったりです。)に映されるため、臨場感のある議論となります。実りある議論をしていただくためにあらゆる工夫をしております。

登録がまだの方はすぐに学会ホームページにアクセスし、空席が一つもないよう登録を済ませてください。できるだけ多くの方々が本会に参加し、補綴歯科臨床の品質と信頼性を高めていただくことを希望いたします。

第1回補綴歯科臨床研鑽会 「プロソ '14」 大会長
公益社団法人日本補綴歯科学会専門医制度委員会委員長
水口俊介

公益社団法人日本補綴歯科学会 第1回補綴歯科臨床研鑽会
「プロソ'14」

—審美歯科臨床のカッティングエッジ—

開催日：平成26年12月6日（土）、7日（日）

会場：東京医科歯科大学 M&D タワー2F 鈴木章夫記念講堂

参加資格：日本補綴歯科学会会員

日本歯科技工学会会員

日本歯科技工士会会員

登録会費：8000円 定員：500名（先着順）

登録締め切り：平成26年11月13日（木）

専門医研修単位：各シンポジウム2単位 計8単位

（日本補綴歯科学会HPを經由し、プロソ'14HPに入ってください。）

12月6日（土）

9：30～12：40

シンポジウム1. 審美補綴のための補綴前処置

（アタッチメントレベルの管理，歯頸線の調和）

座長：窪木拓男（岡山大学）、鈴木秀典（関西支部）

講師：佐藤洋平（鶴見大学）、脇 智典（東京支部、）

石田雄一（徳島大学）、宮前守寛（関西支部）

14：10～17：20

シンポジウム2. 欠損部歯槽堤の保存，再建（結合組織移植含む）

座長：細川隆司（九州歯科大学）、鮎川保則（九州大学）

講師：木林博之（関西支部）、山崎章弘（中国四国支部）

正木千尋（九州歯科大学）、松井徳雄（貴和会新大阪診療所）

12月7日（日）

9：00～11：30

シンポジウム3. クラウンカントゥア，フィニッシュラインの設定と

ブラックトライアングルの処理（インプラント治療を含む）

座長：澤瀬 隆（長崎大学）、佐藤洋平（鶴見大学）

講師：松永興昌（九州支部）、六人部慶彦（関西支部）

伊原啓祐（鶴見大学）

13：00～16：50

シンポジウム4. CAD/CAMを用いた審美材料と技工技術の進歩

座長：萩原芳幸（日本大学）、前川賢治（岡山大学）

講師：大谷恭史（University of Washington）、土屋嘉都彦（九州支部）

丸尾勝一郎（神奈川歯科大学）

西村好美（デンタルクリエーションアート）、田中晋平（昭和大学）